

恩賜賞・日本芸術院賞受賞記念講演

「詩をつくる・批評を書く

——文学活動50年の風景」

詩を書いた。そのあと文章も書いてみた。
高校時代から現在まで、半世紀の文学活
動を振り返ってみたい。(荒川洋治)



© Anthony Newbery

荒川洋治(あらかわ・ようじ) 現代詩作家

1949年4月18日、福井県三国町新保(現・坂井市)生まれ。三国中学、藤島高校を経て、早稲田大学第一文学部卒。早大在学中の1971年刊の第一詩集『娼婦論』で小野梓賞芸術賞を受賞。第二詩集『水駅』(1975年)で第26回H氏賞を受賞。1980年より文筆に専念。1996年より肩書を、現代詩作家(みずからの造語)とする。詩集に『渡世』(第28回高見順賞)、『空中の茱萸』(第51回読売文学賞)、『心理』(第13回萩原朔太郎賞)、『北山十八間戸』(第8回鮎川信夫賞)、エッセイ・評論集に『忘れられる過去』(第20回講談社エッセイ賞)、『文芸時評という感想』(第5回小林秀雄賞)、『過去をもつ人』(第70回毎日出版文化賞書評賞)など多数。最新刊は、『現代詩文庫・続続・荒川洋治詩集』。2019年、恩賜賞ならびに日本芸術院賞を受賞。

日時:2019年8月17日(土)14:00~15:40

場所:県立図書館 多目的ホール 定員:150名(要申込)

主催:ふるさと文学館



〒918-8113 福井市下馬町 51-11 (県立図書館内)
TEL : 0776-33-8866 FAX : 0776-33-8861
E-mail : bungakukan@pref.fukui.lg.jp

【8月17日(土) 荒川洋治講演会申込書】

おふりがな
お名前

TEL

